

令和 4 年度 年間授業計画

東京都立大泉高等学校 全日制課程

教科・科目 講座名	公民「政治・経済演習」	単位数	2 単位	選択
対象学年・組	3年選択者 2講座			
担当教員	矢田 俊輔			
教科書等	『高等学校 改訂版 政治経済』(第一学習社) 『2022 新政治・経済資料』(実教出版)			

学習の目標	政治・経済のしくみを体系的に理解し、社会に出たときに必要不可欠な知識を習得することを目的とする。政治経済の授業を自ら選択してきたため、日頃からニュースや世界の動向に関心が強い生徒が多いと思われる。このことを踏まえつつ、時事問題に対する意見交換や討議などを通して、公民としての資質を身につけさせることを目標とする。
-------	--

学期	単元(学習内容)	時間	学習上の留意点
1学期	① 国際社会と国際法	24	必修で日本の政治について扱うため、自由選択の1学期では、より発展的に、国際政治について学習する。 国際機構の成り立ちや理念、機能を歴史的背景を踏まえつつ理解する。その際、現代の国際社会が抱える諸問題とそれらに対する取り組みなど、最新の時事問題に触れつつ、現代政治の動向を掴むことを目指す。
	② 国際政治の動向		
	③ 国際紛争と難民問題		
	④ 軍備管理と軍縮		
	⑤ 日本の外交と国際平和への役割		
	⑥ 経済社会の発展		
	⑦ 経済成長と景気変動		
2学期	⑧ 金融の仕組みとはたらき	28	2学期は経済分野の中の、主に国際経済について学ぶ。国際的に経済活動を行うメリットやそこで採用されている仕組みなど、現代の国際経済で生じている現象を踏まえつつ学習を進める。 また、国際的な問題である南北問題や環境保全・エネルギー問題などに対して、世界はどう向き合うべきなのか、自分自身の考えを紡ぎだす思考力を身に付ける。
	⑨ 国際経済のしくみ		
	⑩ 国際協調と国際経済機関の役割		
	⑪ 地域的経済統合		
	⑫ グローバル化する経済		
	⑬ 南北問題と日本の役割		
	⑭ 環境保全と資源・エネルギー問題		
⑮ 総合演習			
3学期	⑯ テーマ別学習1～「大きな政府と小さな政府」など	18	3学期は多くの生徒が受験に挑む時期でもあるため、学習内容をテーマ別に設定し、個別的に問題演習を通じた対策をする。
	⑰ テーマ別学習2～「国会の組織と立法」など		
	⑱ テーマ別学習3～「内閣の機構と行政」など		
	⑲ テーマ別学習4～「裁判所の権能と司法制度」など		
	⑳ テーマ別学習5～「地方自治制度と住民の権利」など		

評価の観点・方法	定期考査、提出物、学習状況の観察などを勘案し、総合的に評価を行う。
----------	-----------------------------------